

せいしょ ぼうけん ものがたり 聖書の冒険物語

だいごう
第8号

ねんがつにち
2021年10月15日

ち きょじん その地には、巨人が！

みんすうきだい しょう しんめいき
民数記 第13-14章、申命記 1:19-46と9:1-3、ヨシュア記 11:21-23, 14:6-15, 15:13-17の再話

イスラエル民族がエジプトを出てから、何か月もの月日が経った。今、彼らはカデシ・バルネアの砂漠に宿営している。そこから北にほんの数キロほど行った先には、約束の地である山々が連なっていた。モーセは民を集めて言った。「私達は、私達の神である主が下さると約束して下さった地のそばまで来た。あなたがたは行って、主が言われたように、その地を占領しなさい。恐れてはならない！」

イスラエルの長老達は、本当にそんなことができるのかと思って、こう言った。「まずは偵察隊を送り込んで、その地を探らせましょう。どの道から上るべきかや、町々について、報告させましょう。」

ちやうろうたち しんこう けつじよ
長老達の信仰の欠如にもかかわらず、神は彼らの計画に同意してモーセに言われた。「12の部族から1人ずつ指導者を選び出し、彼らを送り出してカナンを地を探らせなさい。」

そこでモーセは偵察隊を選んで送り出した。12人の偵察隊は、変装して全地をくまなく探った。帰る途中で、彼らは山の町であるヘブロンに立ち寄った。

なん きよだい じやうへき
「何て巨大な城壁なんだろう！ 天にも届きそうだ！」と偵察隊の1人が言った。

「それに、そこに住んでるやつらを見ろよ。」 2人の毛深い巨人が大股でそばを通り過ぎるのを見ると、もう

ひとり こえ あ
1人が声を上げた。

きょじん ふ かえ かれ けわ
巨人は振り返ると、彼らを険しい目付きで見下ろした。

なん
「何だ、あいつらは？ バッタか？」
きょじん ひどろ きよだい やり かれ ほう
巨人の1人が巨大な槍で彼らの方を指しながら、大声をとどろかせた。

「あのちっぽけな野ネズミのことか？」
もう1人がそう言って、大声で笑った。

ていさつたい おそ い
偵察隊は恐れおののいて言った。
「た、退散しよう！ 早く！」

すると、ユダ部族から選ばれたカレブが言った。「いや待て。我々は、まずこの地を探らねば。」

そこで、カレブと、エフライム部族のヨシュアは、残りの10人を置いて町に向かい、そびえ立つ門の中へと入っていった。

すうじかん た
数時間が経つと、ヨシュアとカレブは町を偵察してもどって来た。分かったのは、ヘブロン周辺の山地には、アナク人という、3メートルを超える巨人達が住んでいることと、ヘブロンは3人の巨人達に支配されており、最も大きな巨人アルバの名前にちなんで、キリアテ・アルバという名前に変更されていたということだった。

たたか
「戦いにはなるだろうが、町を攻めと取ることができよう。」とカレブは言った。

すると、^{ていさつたい}偵察隊の1人が言った。
「^{まち}町を攻め取るだって？ ^き気は確かか？
私は、^{きまじん}巨人がいるこの地は、もう2度と
見たくないね！」

それから偵察隊は町を離れ、近くの
エシコルの谷へ下りて行った。そこには
巨人達のぶどう畑があり、日光を
浴びて実が熟していた。彼らは一ふさ
の大きなぶどうの枝を切り取り、それ
を他の果物といっしょにモーセの
元に持ち帰るために、2人がかりで
運んだ。

偵察隊がもどって来ると、モーセと
アロンとイスラエルの民が全員、彼ら
をむかえ出た。偵察隊は持ち帰った
果物を人々に見せ、ヨシュアはモーセ
に言った。「私達はあなたがたの地
へ行ってきましたが、そこは確かに、
神の約束された通り、乳と蜜の流れる
地でした。」

人々が興奮して、その地に攻め上る
ことを話し始めると、他の偵察隊の者
達と言った。「だが、そこに住む人々
は強く、町は非常に大きくて城壁に
囲まれている！ それに、そこにはアナ

ク人が住んでいる。彼らはどう猛な
巨人の子孫だ！」

偵察隊の知らせを聞くと、人々は
意気消沈して、不平を言い始めた。
しかし、カレブは叫んで言った。
「すぐに上って行って、その地を攻め
取りましょう。私達は、必ず勝つことが
できます！」

すると、偵察隊の1人が言った。
「彼らを攻めることはできまい！
彼らは私達より、ずっと強いのだ。」

他の偵察隊の者達は、その地は
そこに住もうとする者達を食い尽く
してしまうとか、そこに住んでいる
者達はあまりにも巨大で、偵察隊は
まるでバッタのようだったなどと、
さらに悪く言いふらし始めた。

それを聞くと、人々は皆大声を上げ
て泣き、モーセとアロンに対しても
ます不平を言った。「どうして主は、
私達をつるぎで殺させ、妻子が捕虜と
されるためにこの地に連れてきたの
か？ 私達は頭を立てて、エジプトに
帰ろう！ エジプトで死んだほうが

ましだ！」
すると、別の者達も呼び始めた。
「いや、この荒野で死んだほうが、
まだましだ！」

それを聞いたヨシュアとカレブは、
怒って衣服を裂き、全会衆に向かって
言った。

「私達が行きめぐってきた地は、
非常に良い地です！ もし主が良しと
されるなら、私達をその地に導いて
行って、それを私達に下さるでしょう！
ただ、主にそむいてはなりません。
また、その地の民を恐れてはなりま
せん。私達は彼らを完全に滅ぼすで
しょう！ 彼らを守る者はありません。
主が私達と共におられます！」

すると、人々は言った。「彼らを石で
撃ち殺してしまえ！ 彼らは我々を
危険に陥れようとしている。彼らを
止めよ、石で撃ち殺せ！」

全会衆は神への信仰を失っていた。
すると突然、主の栄光が、会見の幕屋
からイスラエルのすべての人に現れ

た。神はモーセに言われた。「わたし
がもろもろのしるしを彼らのうちに
行ったのに、この民は、いつまで
わたしを信じないのか？」

わたしに向かってつぶやくこの悪い
会衆を、いつまで忍ぶことができよう
か？ わたしはイスラエルの人々が、
わたしに向かってつぶやくのを聞いた！
あなたは彼らにこう言いなさい。
『わたしは生きている。あなたがたが、
わたしの耳に語ったように、わたしは
あなたがたにするであろう。あなたが
たはみな、この荒野に倒れるであろ
う！ あなたがたのうち、わたしに
向かってつぶやいた者、すなわち、
20歳以上の者はだれ1人として、
約束の地に入ることはできないだろ
う！』

ただし、わたしのしもベカレブは
違った心を持っていて、わたしに
完全に従ったので、わたしは彼が
行ってきた地に彼を導き入れるで
あろう。彼の子孫はそれを所有するに
いたるであろう！ そしてヨシュアは
イスラエルを導いて、それを得させる
であろう！」

「しかし、あなたがた^{そむ}がた^{ものたち}背く者達よ、あなたがた^とが、捕らわれの身になると言ったあなたがたの子^こ供達に、その地^ちを^{あた}与えるであろう。彼らは、あなたがたがい^しや^{しめ}た地^しを^{たの}所有し、楽しむようになるであろう！ しかし、あなたがたは死^{したい}体^{たい}とな^あら^らな^らず、この^あら^らの^たお^おれ^るで^あら^う。40年^{ねん}の間^{あいだ}、あなたがたは不信^{ふしん}のゆえ^{くる}に苦^{さい}しみ^{ごと}ひ^り、あなたがたの最後の一人^{さいご}が死^しぬ^まで、荒野^むを^かさま^{よう}であ^らう！ さあ向^むき^かを^かえ^て、再び^{ふたたび}荒野^むへともど^るのだ。」

かの地^ちを^{さぐ}り^いに^{かえ}行き^て、帰^{かえ}って^きて、その地^ちを^{わる}く^い言^にった^{にん}10人^{えきびよう}は、疫^い病^{びよう}に^いか^かっ^て死^しんだ^が、ヨシヤとカレブ^いだけ^のは^こ生き^ま残^つった。

全^{ぜん}会^{かい}衆^{しゆう}は主^{しゆ}の前^{まえ}に嘆^{なげ}き^{かな}悲^{かな}しんだ^が、モ^もー^せは^{かれ}彼^おら^そに^つ、も^う遅^おず^ぎる^と告^つげ^た。ア^あマ^まレ^れク^く人^{にん}の地^ちに^{はい}入^いら^うと^{した}。者^{もの}達^{たち}も^かいた^が、神^{かみ}は^{とも}彼^{とも}ら^と共^{とも}に^おら^れな^かった^{ので}、敗^{はい}北^{ぼく}した。そ^れで^彼ら

は^あら^の荒^あら^の野^のに^なり^ます、長^{なが}年^{ねん}さ^まま^よう^こと^にな^つた^のだ^つた。

40年^{ねん}が^す過^ふぎ、古^{ふる}い^せ代^{だい}の^{さい}最^{さい}後^ごの^{もの}者^{たち}が^し死^じんだ。モ^もー^せ自^じ身^{しん}も^{とし}年^{とし}を^お老^おい^し、死^し期^きが^ち近^ちく^なつ^たの^で、イ^いス^いラ^らエ^えル^るの^じ次^じ代^{だい}の^い者^し達^だに^い言^いつ^た。「イ^いス^いラ^らエ^えル^るよ、聞^ききな^{さい}！ あ^あな^なた^たが^たは、ま^まさ^さに、あ^あな^なた^たが^たよ^より^も大^おき^く、か^かつ^つ強^きい^く国^{くに}々^を攻^せめ^と取^とろ^うと^して^いる。そ^その^まち^まち^は大^おき^く、城^{じやう}壁^{へき}は^{てん}天^{てん}に^たつ^つ達^だす^るほ^ほど^だ！ そ^その^たみ^はア^あナ^なク^く人^{にん}の^し子^し孫^{そん}で^あつ^て、大^おき^く、ま^また^た背^せが^た高^{たか}い！ し^しか^かし、あ^あな^なた^たが^たの^かみ^し神^{しん}、主^{しゆ}が、あ^あな^なた^たが^たの^まえ^す前^{まえ}に^し進^{しん}ま^れる^こと^を知^しり^なさ^い。主^{しゆ}は、彼^{かれ}ら^をあ^あな^なた^たが^たの^く前^{まえ}で^く屈^{くつ}服^{ぷく}さ^せら^れ、あ^あな^なた^たが^たに^{やく}約^{やく}束^{そく}さ^れた^よう^に、あ^あな^なた^たが^たは^ぼ彼^{かれ}ら^を滅^ぼす^であ^らう。」

モ^もー^せが^な亡^なくな^{ると}、ヨ^よシ^しヤ^やは^だ大^{だい}胆^{たん}に^いス^いラ^らエ^えル^る軍^{ぐん}を^{やく}約^{やく}束^{そく}の^ち地^ちに

導^{みちび}き^{かれ}、ま^まも^もなく、彼^{かれ}ら^はそ^その^ち地^{だい}の^ぶ大^{だい}部^ぶ分^{ぶん}を^せ攻^とめ^と取^とつ^た。そ^その^ぶ地^ぶを^ぶ12^ぶの^ぶ部^ぶ族^{ぞく}に^{ぶん}分^{ぶん}配^{ばい}す^ると^きに^なつ^て、カ^かレ^れブ^ぶが^いヨ^よシ^しヤ^やの^{もと}元^{げん}に^き来^いて^い言^いつ^た。「あ^あな^なた^たと^わた^たし^のこ^とに^つい^て、主^{しゆ}が^カデ^だシ^し・バ^バル^るネ^ねア^あで^モモ^もー^せに^い言^いわ^れた^こと^を、あ^あな^なた^たは^{ぞん}ご^ご存^{ぞん}じ^じで^す。こ^この^ち地^ちを^{さぐ}る^ため^にモ^もー^せが^私を^{つか}遣^いわ^した^時、私^わは⁴⁰歳^{さい}で^した。私^わは^良い^報告^{こく}を^しま^した。そ^その^ひ日^ひ、モ^もー^せは^ち誓^{ちか}つ^て言^いま^した。『あ^あな^なた^たの^あし^ふ足^{あし}が^踏んだ^地は、と^とこ^こし^えに^あな^なた^たの^そう^{ぞく}地^ちに^なる。あ^あな^なた^たが^わが^かみ^し神^{しん}、主^{しゆ}に^従い^つつ^たか^らで^ある。』」

槍^{やり}を^かた^てて、白^{はく}髪^{はつ}の^{ろう}老^{ろう}人^{じん}に^なつ^たヨ^よシ^しヤ^やは^つ続^{つづ}け^る。「そ^それ^い以^い来^{らい}、主^{しゆ}は⁴⁵年^{ねん}、私^わを^わた^しを^い生^なぎ^く永^{なが}ら^えさ^せて^下さ^いま^した。今^き日^{にち}、私^わは⁸⁵歳^{さい}で^すが、今^{いま}も^なお、あ^あの^{とき}時^{とき}の^ち力^{ちから}に^おと^ろわ^ず、ど

んな^た戦^{たたか}い^もに^堪え^るこ^とが^でき^ます。ど^どう^か、主^{しゆ}が^あの^{とき}時^{とき}約^{やく}束^{そく}し^てく^ださ^い。つ^つた^たへ^へブ^ぶロ^ろン^んの^{さん}山^{さん}地^ちを^わた^たし^にく^ださ^い。そ^そこ^こに^は巨^{きよ}人^{じん}が^おり[、]城^{じやう}壁^{へき}の^おお^おき^きな^な町^{まち}々^{まち}が^あり^ます^が、主^{しゆ}が^お助^{たす}け^て下^ささ^るら^ば、私^わが^{かれ}彼^{かれ}ら^を追^おひ^かい^ます。」

そ^そこ^こで^ヨシ^しヤ^やは^へブ^ぶロ^ろン^んを^そう^{ぞく}地^ちと^{して}カ^かレ^れブ^ぶに^あた^たえ^た。カ^かレ^れブ^ぶは^自分^{ぶん}の^い一^{いち}族^{ぞく}を^ひ率^{しゆ}い[、]主^{しゆ}な^る神^{かみ}の^だ大^{だい}胆^{たん}さ^とち^{から}も^も力^{ちから}を^もつ^て、そ^その^{さん}山^{さん}地^ちへ^い上^あつ^て行^いつ^た。85歳^{さい}の^たカ^かレ^れブ^ぶは^戦い^で巨^{きよ}人^{じん}達^{たち}の^{ぐん}軍^{ぐん}隊^{たい}を^やぶ^り、町^{まち}を^せ攻^とめ^と取^とつ^た。そ^そこ^こか^ら更^{さら}に^ち近^{ちか}く^のデ^のビ^のル^るに^あつ^て攻^おめ^り上^り、彼^{かれ}の^{わか}若^わい^おい^の甥^{せい}の^オテ^てニ^にエル^るが^そこ^こに^す住^すむ^巨人^{じん}達^{たち}を^{せい}征^{せい}服^{ふく}し^た。ヨ^よシ^しヤ^やの^{ぐん}軍^{ぐん}隊^{たい}は^こ残^{のこ}り^の山^{さん}地^ちに^{いた}ア^あナ^なク^く人^{にん}を^あ攻^あめ^りま^した。そ^その^お落^おとした^{ので}、イ^いス^いラ^らエ^えル^るの^ち地^ちに^は巨^お人^{じん}が¹人^{ひとり}も^いな^くな^つた。

このすごい聖書の登場人物について、もっと読んでみよう。

「聖書の偉人：カレブ」を見てね。